

地域とともに成長する

袋商シヨツプ

校舎をデパートに見立て、各クラスの生徒たちが市内外の企業や商店から仕入れた商品を販売する袋井商業高校の袋商シヨツプが今年も12月8日(土)・9日(日)に開催されます。

地域の企業や商店と連携を深めながら、地域と学校の新しい伝統行事として成長を続ける袋商シヨツプの姿を紹介します。

④袋商シヨツプ(袋井商業高等学校内) ☎42-2285



袋商シヨツプって何？

袋商シヨツプとは、袋井商業高校の生徒一人ひとりが社員となり、商品の仕入れから販売までを行う模擬会社「株式会社袋商シヨツプ」のこと。毎年12月に地域に向けて開催している大規模な販売実習会の名称です。

日用雑貨から乗用車まで、様々な商品をクラスごとに出店。売り場では、仕入先の企業で研修を積んだ生徒たちが商品の説明から会計までを行います。



地域とともに成長する袋商ショップ

袋商ショップに協力する地元の業者さんの言葉

「おもてなしの心とは何かを
実践を通して学んでほしい」



有限会社おしやれの店村松屋
代表取締役社長

鈴木直人さん(新町)

先代が袋井商業高校のOBだったこともあり、第1回の開催時から協力させていただいています。

袋商ショップは、授業だけでは学べない様々な商業活動が経験できるとても面白い試みだと思えますし、インターンシップでの学生受け入れなどは、生徒さんにとっても地域の商店にとっても大変良い刺激になっていると思います。

何より、現役の商業高校生を育てることは、地域の商業の活性化にもつながります。

袋商ショップでは、生徒さん一人ひとりが店頭に立ってお客さんと接することで、「おもてなしの心とは何かをしっかりと感じ取ってほしいと思います。」

「結果も過程も両方大切。
創意工夫と笑顔の接客を」



有限会社今村製パン
代表取締役社長

今村實彌さん(大門一丁目)

いつもは袋井商業高校の売店にパンを卸し、生徒さんに買っていただいています。袋商ショップでは生徒さんがパンを売ることに協力させていただきます。

何を売るにしてもそうですが、一番大切になるのは、やはり接客だと思えます。今年も高校生らしい明るく元気な笑顔でお客さんに接してください。

また、袋商ショップでは毎年独自のデザインパンを作っています。が、そのようなアイデアを何より大事にしてほしいと思います。

袋商ショップでは、売り上げ結果だけにとらわれず、是非、その過程で多くのことを学び取ってください。

第5回袋商ショップ

日 12月8日(土)・9日(日)
時 午前9時～午後4時(9日(日)は午後3時まで)
所 袋井商業高校(袋井市久能2350)

内容 海産物、野菜、果物、食料品、家具、家電製品、衣料、乗用車などの販売、食堂、喫茶店など

当日は、吹奏楽部による演奏会や袋井東小学校児童によるダンス、抽選会、バザー、ちびっこ広場など様々な催しも行います。直接、会場にお越しください。



⑧袋商ショップ(袋井商業高校内) ☎42-2285

袋商ショップ社長あいさつ



5代目社長
田口聡美さん

平成15年の会社設立以来、毎年袋商ショップが開催できるのも、私たちの活動に協力して下さる地元企業・商店の方々と、お客さんとして足を運び応援して下さる地域

の皆さんのおかげだと感じています。袋井商業高校の生徒にとって袋商ショップは、実際の商品の取り扱いや取り引きの流れ、販売の手法や接客方法など、授業の中では学べないことが体験できる学習の場であるとともに、学校を開放し、地域の皆さんと交流できる場でもあります。今年の袋商ショップでも、社訓の「おもてなしの心」を胸に、ご来場くださるお客さんと、商品を取り扱わせてくださる協力業者の方々の期待に添えるよう精一杯頑張ります。皆さん、ご家族やお友達を誘って是非、お越しください。